

令和三年度 京都府公立高等学校入学者選抜  
前期選抜学力検査

共通学力検査

国語

解答上の注意

- 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 問題は、この冊子の中の1～6ページにあります。
- 答案用紙には、受付番号を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 答案用紙の答の欄に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある【答の番号】と、答案用紙の【答の番号】とが一致するように注意しなさい。
- 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の答の欄の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。
- 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 木曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………答の番号【1】

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なものを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。  
……………答の番号【2】  
(ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 奇数を、次の(ア)～(オ)からすべて選べ。……………答の番号【3】  
(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3  
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号
(2)	(1)		番号
【3】	【2】	【1】	答の番号
ア イ ウ エ オ	ア イ ウ	金 曜日	答の欄
【3】	【2】	【1】	採点欄

共通学力検査					
国語					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点					

次の文章を読み、問い(1)～(8)に答えよ。(17点)

ひとが何かをおこなうことを外部から強く制限されるとき、たとえばその行動に激しい圧力がかかる、その存在が厳しく拘束される、意に反して何かを強制されるといった場面では、それらへの反撥の表明として、「自由」という語はなかなかのリアリティを帯びる。ここで「自由」は、「支配」や「隷属」「専制」や「圧政」の対項として語りだされる。他者あるいは「権力」によってじぶんの存在が脅かされているという事態への抵抗、その合言葉として「自由」が口にされるのである。

けれども「自由」は、わがまま、気ままや、ただの放埒としてなされた行為をみずから正当化するときに用いられもする。ここでは「ひとの勝手」とほとんどおなじ意味で、「個人の自由」が口の端に上る。つまり、強制や拘束からの自由ではなく、何をしてもよいという恣意の自由、干渉されない自由として。

差異は、脅威を感じるのがだれか、干渉されるのがだれか、ということにある。前者は、ほんらいはその権利を有するはずなのにそれ以外の選択を許さぬと迫られている「個人」である。後者は、無制約の選択を主張するセルフフィッシュな個人である。この「セルフフィッシュ」という意味の混入を、「自由」の訳語を定着させた明治の人びとは訝ったらしい。

「自由」という概念は、「自己」という概念契機を欠くことができない。不自由とは、自己の思いや意志が制限されること、それも自己というものに固有の権利が認められてしかるべきものが制限されることを意味する。それは、「自己」とともにその自己に権利として属するはずのものが侵されている、脅かされている、というふうにいえることができる。とすれば、「自由」には   ことになる。

自己に固有のものを護る権利。その自己に固有のものが何であるかについては、さまざまに考えられてきた。生命、あるいはその座である身体、選択する意志、身柄(家族をはじめとする親しい交わりの関係)、個人もしくは集団の所有物……。

ここで問題になるのは、あくまで「権利」としてあるものである。生存権、そして所有権。「権利」としてあるかぎり、それらは正当化可能なものでなくてはならない。これが欲しい、これを作りたいといった、個人の衝動や欲望はあきらかに他者のそれらと衝突するもの、単純には共存できないものだから、正当性の主張のあいだにかならず対立が起こり、正当性の主張を全うすることは困難であ

【下へつづく】

る。したがって、恣意的なものは「権利」からは排除されざるをえない。根拠の認められるもの、だれもが普遍的に承認できるもの、そういうものが「権利」にはなければならない。

そこに導入されるのが、「自己」という契機である。「自由」という概念には、まずは、他者からの制限や干渉を受けていないこと、他者に強制もしくは拘束されていないことが含意されるが、これを裏返せば、ひとが他者の支配を受けずに、もっぱら自己の意志にもとづいて思い、行ないうること、つまりは一つの自立的な主体であることを意味する。「自由」はしばしば「自律」(autonomy)という概念で言いかえられる。「自律」とは、「自己が法である」ということ、自己が自己の行動の決定主体であるような個人(あるいは集団)のあり方のことである。そういう意味で、「自律」は「主権性」とも言いかえられ、より具体的には、「自己統治」や「自己決定」、「自己管理」や「自己支配」とも言いかえられてきた。自立的な主体であるとは、「わたしがわたしの主人である」ということであり、「わたしがわたしの生の主宰者である」(デカルト)ということである。

ここで自立的自律的というのは、生の遂行においてわたしが、他者による制限を受けただけでなく、他者の意志に依存しない状態にあるということである。それどころか、わたしの意志が他者のそれに依存しているというのは、たとえその意志にもとづいた行動が他者によって制限を受けていなくても、じつは不自由そのものなのである。「自由」とはまずなによりも「自由な意志」の存在を前提するものである。そして、個人々の意志の発動のうちに「自律」という回路が設置されていることが、「自由」のもっとも基本的なかたちなのである。(驚田清一「へつと」の現象字)による)

注

\*反撥…「反発」と同じ。

\*放埒…気ままに振る舞うさま。

\*セルフフィッシュ…自分本位の。

\*明治の人びと…本文より前の部分で、明治の人びとによって英語の語彙の訳語が世間に定着したことが述べられている。

\*訝った…不審に思った。

\*デカルト…フランスの哲学者。本文の「わたしがわたしの生の主宰者である」はデカルトの言葉を引用したもの。

- (1) 本文中の a の意味として最も適当なものを、次のI群(A)～(E)から一つ選べ。また、本文中の h の意味として最も適当なものを、後のII群(カ)～(ケ)から一つ選べ。……………答の番号【1】





注

- \*フライン・アート… 絵画・彫刻・建築などの視覚芸術。
- \*後漢書… 中国の後漢時代を記した歴史書。 \*技藝… 美術・工芸などの技術。
- \*肉薄… 核心に迫ること。 \*思惟… 心に深く考え思ふこと。
- \*箴言… いましめとなることば。 \*サイエンス&テクノロジ… 科学と技術。
- \*レンジ… 範囲。 \*フィジカル… 物質的。
- \*ライオン・マン… ドイツで発見された世界最古の動物彫刻。
- \*レオナルド… レオナルド・ダ・ビンチ。 イタリアの画家、科学者。「大洪水」の作者。
- \*カンディンスキー… ドイツの画家。「即興」の作者。
- \*組上… まないたの上。 相手のなすがままにまかせられないような状態のたとえ。
- \*工人… ものをつくる職人。 \*匠… ものをつくること。

(1) 本文中の語源<sup>a</sup>の熟語の構成を説明したものと最も適当なものを、次の

I群 (ア) (イ) から一つ選べ。また、語源<sup>a</sup>と同じ構成の熟語を、後のII群 (カ) (ク) (ケ) から一つ選べ。…………… 答の番号【10】

I群

- (ア) 上の漢字と下の漢字が似た意味を持っている。
- (イ) 上の漢字と下の漢字の意味が対になっている。
- (ウ) 上の漢字が下の漢字を修飾している。
- (エ) 下の漢字が上の漢字の目的や対象を表している。

II群

- (カ) 抑揚 (キ) 握手 (ク) 装飾 (ケ) 実行

(2) 本文中の「仮象」<sup>b</sup>とはどのようなものか。最も適当なものを、次の (ア) (イ) (エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【11】

- (ア) 人間が自然物から得た素材で造りあげたもので、「自然そのもの」と同一とはいえないもの。
- (イ) 人間が自然物から着想を得て造りあげたもので、「自然そのもの」を詳しく調べ、再構成する能力を人間にもたらすもの。
- (ウ) 人間が自然物に対抗して造りあげたもので、「自然そのもの」と共通する特徴を持たないもの。
- (エ) 人間が自然物に頼らず造りあげたもので、「自然そのもの」よりも生活を豊かにするもの。

(3) 本文中の「削る」<sup>c</sup>の活用の種類として最も適当なものを、次のI群 (ア) (イ) (ウ) から一つ選べ。また、「削る」と同じ活用の種類である動詞を、後のII群 (カ) (ク) (サ) からすべて選べ。…………… 答の番号【12】

I群 (ア) 五段活用 (イ) 上一段活用 (ウ) 下一段活用

II群

- (カ) 繕う (キ) 寝る (ク) 勧める
- (ケ) 満ちる (コ) 辞する (サ) 静まる

(4) 本文中の「芸術」<sup>d</sup>は、ほかの「術」と何が異なるのでしょうか。…………… 本文ではどのような点が異なっていると述べられているか。最も適当なものを、次の (ア) (イ) (エ) から一つ選べ。…………… 答の番号【13】

- (ア) 「芸術」は人類の生死の問題を解消しただけではなく、個人が行ってきた仕事を世代を超えて継続させる人類の営みでもあり、人類に将来への大きな希望をいだかせるといふ点。
- (イ) 「芸術」は医療によって個人の生命時間を解決することを否定した上で、人類が抱える主題そのものを見つめていこうとする営みであり、時間や場所に関わらず持続的に影響を与えていく力を持つという点。
- (ウ) 「芸術」は目前の事態に貢献する手立てとしてだけでなく、過去から現在に至るまで人類が直面してきた主題に向き合う営みであり、その営みにより個人の生命を生起・循環させてきたという点。
- (エ) 「芸術」は個人の生きていく時間や場所に生じる困難に限らず、人類にとって普遍的な主題に焦点を当てて工作する営みであり、今という物理的な制約を超えて続いていくという点。

(5) 本文中の「示唆」<sup>e</sup>の読みを平仮名で書け。…………… 答の番号【14】

(6) 本文中の「保シヨウ」<sup>f</sup>の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。…………… 答の番号【15】



次の文章は、「伊會保物語」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問い(1)～(5)に答えよ。(13点)

去ほどもに、ねたなを国王いそ保を語りひ、よなよな昔今の物語どもし給ふ。ある夜、伊會ほ、夜ふけて、やもすれば眠りがちなり。「奇怪なり。語れ語れ」と責め給へば、いそ保謹しんで承、御聞に備へて云、近き比、ある人千五百疋の羊を飼ふ。其道に河あり。底深くして、かちにて渡る事かなはず。つねに大船をもつてこれを渡る。有時、俄に帰りけるに、船をもとむるによしなし。いかん共せんかたなくして、ここかしこ尋ねありきければ、小舟一艘、汀にあり。又ふたりとも乗るべき舟にもあらず。我とともに乗りて渡る。残りの羊、数多ければ、そのひまいくばくの費へぞや」といひて、又眠る。その時、国王逆鱗あつて、いそ保を諫め給ふ。「汝が睡眠狼藉也。語果たせ」と給言あれば、いそほおそれおそれ申けるは、「千五百疋の羊を小舟にて一疋づつ渡せば、その時刻いくばくかあらん。その間に眠り候」と申ければ、国王大きに御感あつて、「汝が才覚量りがたし」。

〔日本古典文学大系〕による

注

- \*去ほどもに…さて。
\*いそ保…人物名。本文中の「伊會ほ」「いそほ」も同一人物。
\*語りひ…話し相手にして。
\*御…国王の行動や考えに敬意を表す語。
\*汀…水に接する所。
\*繪言…国王のことば。
\*ねたなを国王…エジプトの国王。
\*奇怪なり…許しがたいことだ。
\*かち…徒歩。
\*睡眠狼藉也…眠るのは無礼だ。

(1) 本文中の波線部(~~~~)のうち、平仮名の部分が現代仮名遣いで書いた場合と異なる書き表し方を含んでいるものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。また、本文中の「かなはず」は歴史的仮名遣いで書かれている。これをすべて現代仮名遣いに直して、平仮名で書け。 答の番号 [20]

- (ア) 夜ふけて (イ) 羊を飼ふ (ウ) せんかたなく (エ) そのひま

(2) 本文中の「船をもとむるによしなし」の解釈として最も適当なものを、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号 [21]

- (ア) 船を見つけたので、探す必要がない
(イ) 船を購入したところ、お金がなくなった
(ウ) 船を探し求めていた間に、使う理由がなくなった
(エ) 船を手に入れようとするが、その方法が見つからない

(3) 本文中の [ ] に入る最も適当な語を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号 [22]

- (ア) 大船 (イ) 国王 (ウ) 羊一疋 (エ) 皆

(4) 本文からは、本文中の「」に対応するかぎ括弧(「」)が抜けている。このかぎ括弧(「」)が入る箇所の、直後の二字を本文中から抜き出して書け。 答の番号 [23]

(5) 次の会話文は、本文について広斗さんと先生が交わした会話の一部である。これを読み、後の問い①・②に答えよ。 答の番号 [24]

先生 これは、古代ギリシャの説話「イソップ物語」を翻訳したもので、主人公のいそ保の逸話には外国を舞台としたものもあるんですよ。だから、この本文にはエジプトの国王が登場するんですね。ところで、本文にある、いそ保の「才覚」とはどのようなものですか。先生 それは、いそ保が創作した話の中の [A] 時間で、 [B] 時間を作り出そうとしたところから分かりますね。広斗 なるほど。つまり本文全体を通して、いそ保が [C] が、いそ保の「才覚」なんです。 [A] [B] [C]

① 会話文中の [A]・[B] に入る適当な表現を、本文の内容を踏まえて、 [A] は五字以上、八字以内で、 [B] は三字以上、五字以内で書け。 答の番号 [24]

下書き用 [A] [B] [C] に入る最も適当な表現を、次の(ア)～(エ)から一つ選べ。 答の番号 [25]

- (ア) 国王の要求に応じて毎夜、新たな物語を語った点
(イ) 自分自身と国王の欲求を同時にかなえる話を作った点
(ウ) 国王の願望にそった話をする事で国王を納得させた点
(エ) 自分自身の望みをかなえるために意図的に国王を怒らせた点





共通学力検査 国語 正答表

三						二										一										問題番号
(5)		(4)	(3)	(2)	(1)	(8)			(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(8)		(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	番号	
⊖	⊖					⊖	⊖	⊖								⊖	⊖									
【25】	【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】		番号
①	例A 羊を一匹ずつ渡す 6 8	近き			①		例 の有限の存在に 対する憧れ 25 26 16 か な わ ず ①	①		保障 し さ ①			I ア II カ ①		I ウ II セ ②	例 に他者に制限されるか、 依存するか、他者の意志 15 25 16	一つの事 ①		ア ①		①		お か さ れ て ①	b ウ c ①	I ア II セ ②	答の欄
【26】	【24】	【23】	【22】	【21】	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	備考欄	
													完全解答		完全解答					完全解答			完全解答			
2	3	2	2	2	(各1)2	2	3	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	(各1)2	配点	